

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。このお客たち——

いや、家からアマサレ人達である。そしてゴダグを並べているのだ。

お茶は無料だし…。

油売り「十二月十日の、参議院本会議での代表質問で、立憲民主党の青木愛議員が、岸田首相が説く「新資本主義とは、前に竹中平蔵氏が小泉内閣時代に力説した新自由主義と、どう違つか、と質問したな——」

オンベ「あれは、企業の事業にブレーキをかけるな。企業が儲ければ、そのカネが国民に流れていく——という考えだ。アメリカからの輸入経済学だ」

ママシ「それに対し、一部の経済学者が『一般国民にも流れて行く？ それは屋根から目薬か』、と批評したな——」

油売り「一般民衆が貧乏だと物が売れないのだと、或る学者がテレビで言っていたよ」

——その後、オンベが次のように語った。津軽弁のことを。

軍隊での津軽弁

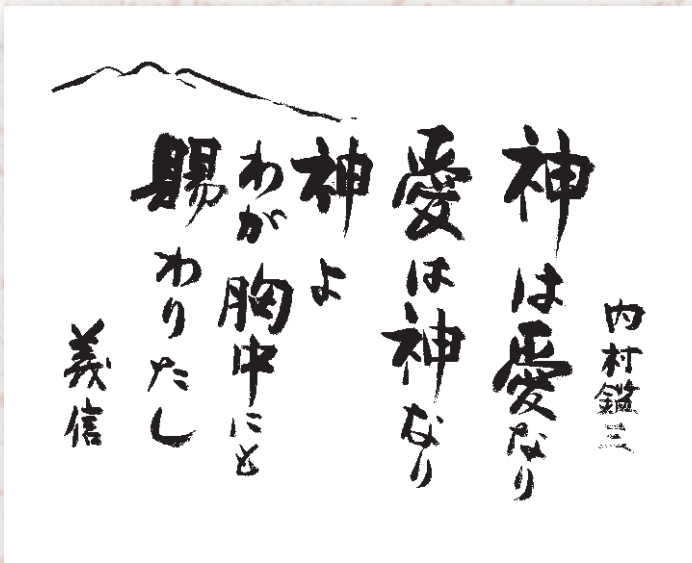
一つは二戸兵衛大将（弘前出身）のこと。日露戦争の、有名な旅順（二〇三高地）の激戦。二〇三メートルの岩山。上の方にロシア軍。当時、日本軍には機関銃がなく、ロシア軍にはそれが有った。どんどん撃つてよこす。司令官の乃木大将の長男も次男も戦死。

一戸少将は乃木の信頼が厚く、乃木が「誰も行かなければ一戸と俺が行く」と言ったそつだ。岩山を登って攻めて行った一戸少将、岩陰に伏せているとき自分の腹を押さえたという。

それをみて副官の林銑十郎中佐が（のちの大将、首相）「閣下、また腹痛でありますか。軍医を呼びます」と言ったら一戸少将が「ソニヤ、イダグネエジャ」と言ったそつだ。

× × ×

青森歩兵五連隊（現在の青森高校の所）に応召兵として入った東京の人（名前を忘れたが、のちの法務大臣をつとめた人）——演習場で大砲の分解搬送をした後、組立のとき、ネジが一つ見付からないう。分隊長が「ネズ、フーレ！」と命令したとき、その意味がわからず立っていたら「バカ野郎、ホンツケ！」と叱られ、「全員ネマレ！」と言われたとき、立っていたら「バガモノ！」と——。



JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2022.1 Vol.474

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2022年1月1日

JA 相馬村概況

（令和3年12月末日現在）

組合員数	864人
（うち准組合員数	375人）
出資金	617,575千円
貯金額	10,678,091千円
共済保有高	3,202,994万円